

小高産業技術高等学校



1 スクール・ミッション

高校の存在意義

校訓「創造」「敬愛」「共生」のもと、相双地区の職業教育推進校として工業科（機械科、電気科、工業系産業革新科）と商業科（商業系産業革新科）を併置する専門高校

期待される社会的役割

相双地区の地域や企業と連携した工業・商業教育を通して、専門的な知識と高度な技術力を身に付けた、地域復興・発展の中核を担う人材を育成する学校

目指すべき学校像

マイスター・ハイスクール事業※₁や福島イノベーション人材育成実践事業※₂の成果を生かして言語活動等による思考力や探究心等の資質・能力、個性や社会性を伸ばす学校

- ※1 マイスター・ハイスクール事業とは、工業高校など職業・専門教育が主の「専門高校」と自治体、産業界が一体で取り組み、専門高校での人材育成モデルの構築を図る、文部科学省の事業。
- ※2 福島イノベーション人材育成実践事業とは、福島イノベーション・コースト構想を担う人材育成のため、高等学校において、大学・企業・自治体との連携や教育環境の整備によって、魅力あるプログラムを開発・実践する県の事業。

2 スクール・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー（卒業までに、このような生徒を育てます。）

- ・変化の激しい21世紀を生き抜く力を身につけ、心身ともに健康な人間を育成します。
- ・専門的な知識と技術を習得し、地域産業や地域社会の復興・発展を担う人材を育成します。
- ・豊かな人間性と倫理観を持ち、心豊かで協調性・社会性に富んだ人間を育成します。

カリキュラム・ポリシー（高校では、このような教育活動を行います。）

- ・一人一人の生徒の学習状況を把握し、ICTを活用した個に応じた学習指導を行います。
- ・地域社会や企業との連携により、実践的で体験的な学習活動を行います。
- ・進学や就職など、多様な進路希望が実現できるよう支援します。
- ・特別活動や学校行事を通して、望ましい人間関係の構築や思いやりの心を育みます。

アドミッション・ポリシー（高校では、このような生徒を求めています。）

- ・工業や商業の各専門分野の学習に興味・関心があり、入学後の具体的な目標に向けて主体的に学ぼうとする生徒。
- ・専門科目の知識・技術の習得や資格取得に意欲的に取り組み、将来、地域産業の中核となり、福島の復興・発展を担う意欲のある生徒。
- ・高校生活に明確な目標を持ち、学習活動はもちろん、生徒会や部活動、地域のボランティア活動等に意欲的に取り組む生徒。

3 学校のHP

<https://odakasangyogi-jutsu-h.fcs.ed.jp/>